



FY22 IQ 決算説明資料

2022年7月29日 東京特殊電線株式会社

1. 決算概要	• • •	P.03
2. FY22配当金および業績予想	• • •	P.09
3. Appendix	• • •	P.11

(百万円、%)	FY21.1Q	FY22.1Q	増減	増減率	増減要因
売上高	5,070	4,820	▲250	▲4.9	<p>売上原価</p> <p>原価低減の推進により売上原価の改善はあったものの、銅地金価格の高止まりや原材料価格の上昇、また、品種構成において高付加価値製品の需要減少等により、原価率は2.3ポイントの悪化となった。</p> <p>法人税、住民税及び事業税</p> <p>+19百万円 (▲123百万円→▲104百万円)</p> <p>法人税等調整額</p> <p>+60百万円 (▲94百万円→▲34百万円)</p>
売上原価	3,524	3,462	▲62	▲1.8	
(率)	69.5	71.8	+2.3	—	
売上総利益	1,545	1,357	▲188	▲12.1	
販売費及び一般管理費	611	673	+62	+10.0	
営業利益	933	684	▲249	▲26.6	
(率)	18.4	14.2	▲4.2	—	
経常利益	960	746	▲214	▲22.3	
税金等調整前 四半期純利益	961	699	▲262	▲27.3	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	735	555	▲180	▲24.5	

- ・売上高は4,820百万円となり、前年同期比▲250百万円（▲4.9%）の減収となった。
- ・売上高増減に含まれる為替変動による影響額+173百万円
（電線・ヒータ分野+79百万円、デバイス分野+94百万円）

構成比

電線・ヒータ分野



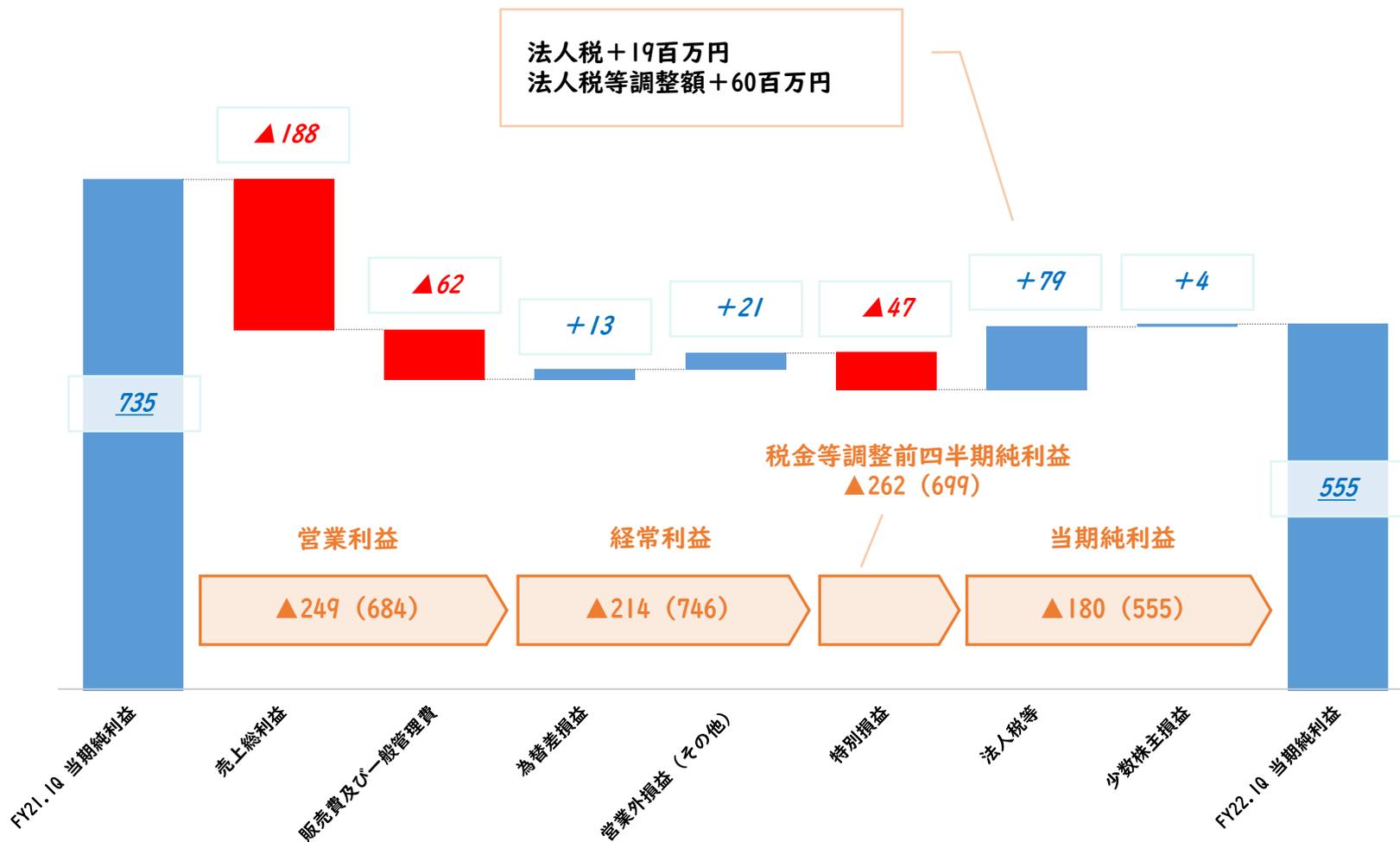
パソコン等の小型トランスに使用される三層絶縁電線が半導体不足や上海ロックダウンの影響を受け、電源トランスメーカーの生産が大幅に減少、また、自動車向けシート用ヒータ線においても半導体不足の影響により減収となった結果、前年同期比▲129百万円（▲4.2%）となった。

デバイス分野



中国子会社の焼付線は上海ロックダウン影響もあり減収となった。また、半導体パッケージ基板導通検査治具に使用されるコンタクトプローブも弱含んだことから、前年同期比▲124百万円（▲6.3%）となった。

(百万円、%)	FY21.1Q	FY22.1Q	増減	増減率
売上高（連結）	5,070	4,820	▲250	▲4.9
電線・ヒータ分野	3,063	2,934	▲129	▲4.2
デバイス分野	1,989	1,865	▲124	▲6.3
その他分野	17	20	+3	+17.3



- ・ 営業利益は684百万円となり、前年同期比▲249百万円（▲26.6%）の減益となった。
- ・ 営業利益増減に含まれる為替変動による影響額+4百万円（電線・ヒータ分野+1百万円、デバイス分野+3百万円）

構成比

電線・ヒータ分野



三層絶縁電線や自動車向けシート用ヒータ線が減収となったことに加え、銅地金価格高止まりや原材料価格上昇の影響もあり、前年同期比▲134百万円（▲25.4%）となった。

デバイス分野



売上高において中国子会社の焼付線の減収、コンタクトプローブが弱含んだことから減益となり、前年同期比▲117百万円（▲25.9%）となった。

(百万円、%)	FY21.1Q	FY22.1Q	増減	増減率
営業利益（連結）	933	684	▲249	▲26.6
電線・ヒータ分野	528	394	▲134	▲25.4
デバイス分野	453	336	▲117	▲25.9
その他分野	▲48	▲45	+3	—

(百万円、%)	FY21	FY22.1Q	増減	増減率	増減要因
流動資産	17,534	17,491	▲43	▲0.2	流動資産（その他）
現金及び預金	10,597	10,590	▲7	▲0.1	売掛債権▲245百万円 棚卸資産＋187百万円 等
その他	6,936	6,900	▲36	▲0.5	
固定資産	10,202	9,910	▲292	▲2.9	有形・無形固定資産
有形・無形固定資産	8,028	8,114	＋86	＋1.1	設備投資＋246百万円 減価償却費▲252百万円 固定資産除売却▲10百万円 その他＋102百万円
投資その他の資産	2,174	1,796	▲378	▲17.4	
資産合計	27,737	27,402	▲335	▲1.2	流動負債
流動負債	5,821	5,344	▲477	▲8.2	仕入債務▲143百万円 未払金▲156百万円 未払法人税等▲189百万円 等
固定負債	3,492	3,381	▲111	▲3.2	
負債合計	9,313	8,725	▲588	▲6.3	株主資本
(うち、有利子負債)	2,326	2,380	＋54	＋2.3	利益剰余金＋80百万円
株主資本	17,381	17,466	＋85	＋0.5	
その他	1,041	1,210	＋169	＋16.2	
純資産合計	18,423	18,676	＋253	＋1.4	
負債純資産合計	27,737	27,402	▲335	▲1.2	
自己資本比率	65.7	67.5	＋1.8	－	
Net Cash	8,270	8,209	▲61	▲0.7	

1. 決算概要	・ ・ ・	P.03
2. FY22配当金および業績予想	・ ・ ・	P.09
3. Appendix	・ ・ ・	P.11

- ・ FY22の年間配当金は、100.0円／株と予想（中間配当 50.0円／株、期末配当 50.0円／株）
- ・ FY22の業績予想は、2022年5月12日に公表いたしました「2022年3月期決算短信[日本基準]（連結）」に記載しております連結業績予想から変更ございません。

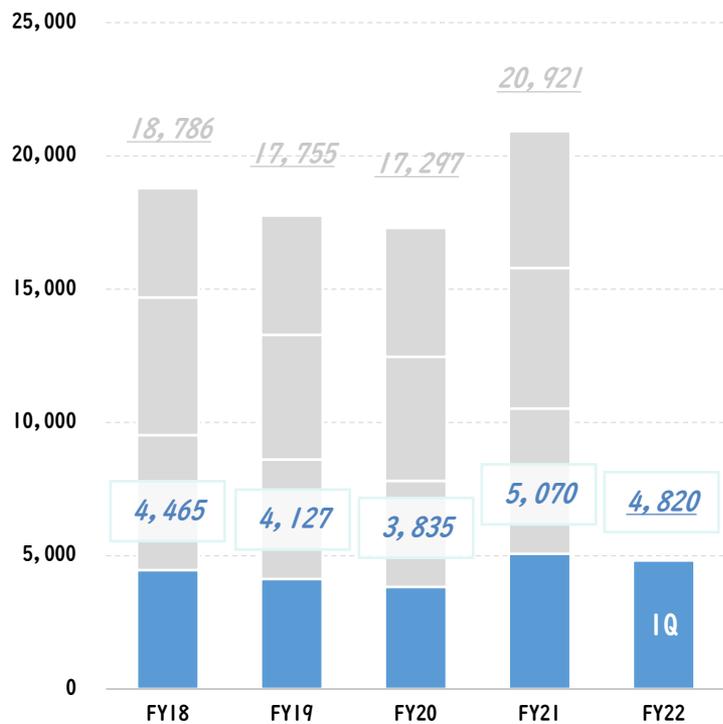
配当金（円、銭、％）	中間配当	期末配当	合計	総額（百万円）	配当性向（％）
FY20	30.0	30.0	60.0	404	22.4
FY21	30.0	50.0	80.0	539	23.1
FY22（予想）	50.0	50.0	100.0	—	31.8

業績予想（百万円、％）	FY21 実績	FY22 予想	増減	増減率
売上高	20,921	21,500	+579	+2.8
営業利益	3,260	3,200	▲60	▲1.9
経常利益	3,306	3,150	▲156	▲4.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,335	2,120	▲215	▲9.2

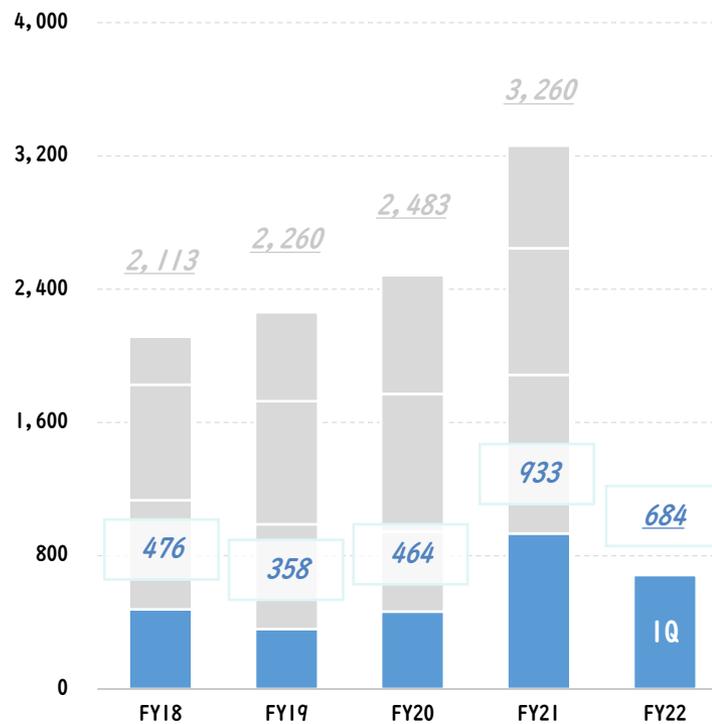
※将来に関する記述につきましては、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がございます。

1. 決算概要	• • •	P.03
2. FY22配当金および業績予想	• • •	P.09
3. Appendix	• • •	P.11

売上高（百万円）



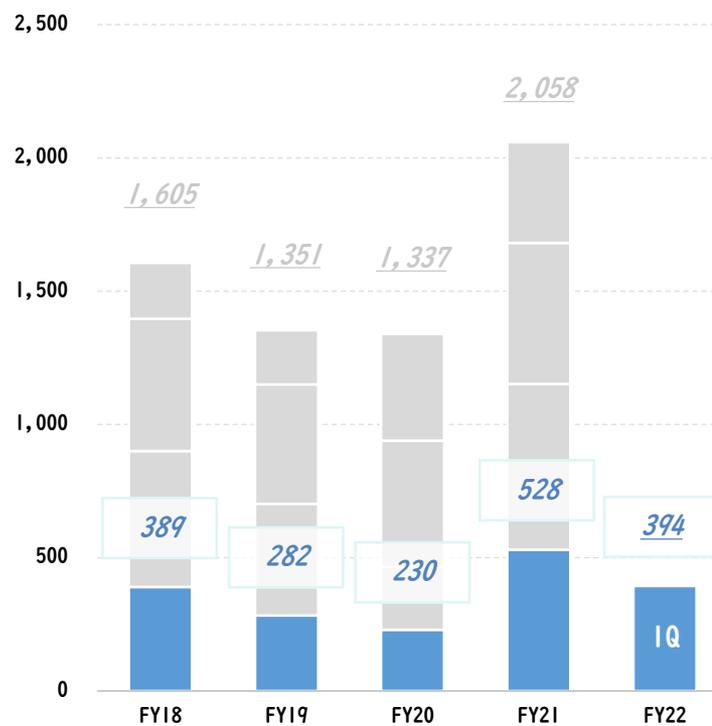
営業利益（百万円）



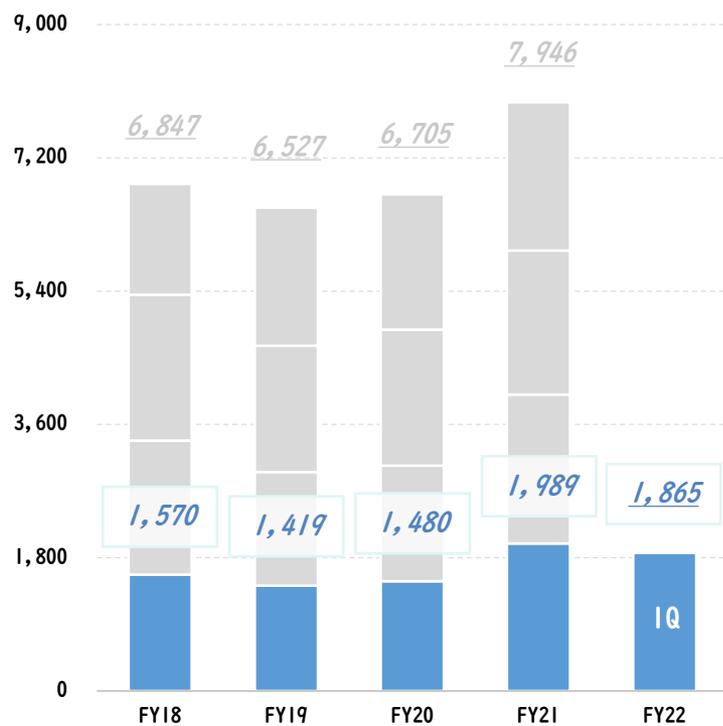
売上高（百万円）



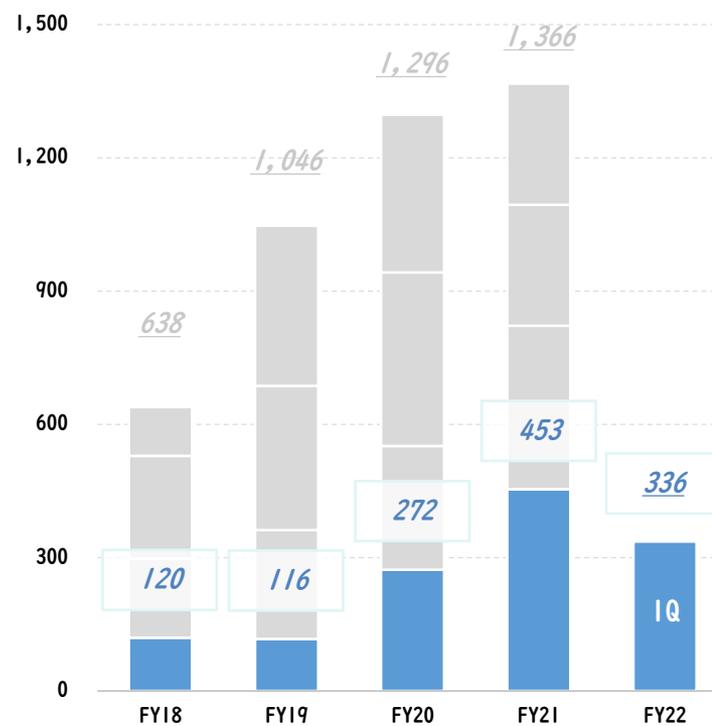
営業利益（百万円）



売上高（百万円）

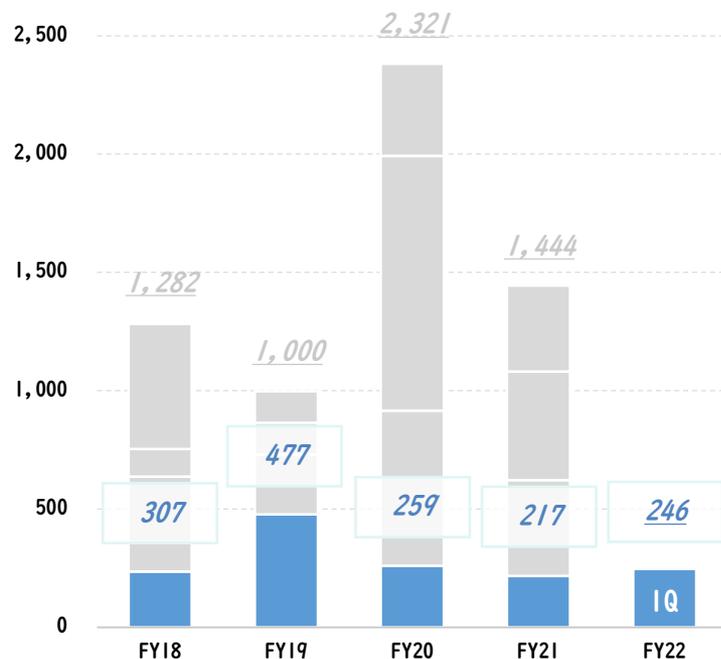


営業利益（百万円）



- ・設備投資は前年同期比+29百万円（当社+6百万円、連結子会社+23百万円）の246百万円となった。主な増加については、中国子会社での生産設備取得に伴う設備投資による。
- ・減価償却費は生産設備等の取得に伴い、前年同期比+51百万円の252百万円となっている。
- ・研究開発費については主に中国子会社での増加に伴い、前年同期比+6百万円（当社▲0百万円、連結子会社+6百万円）の73百万円となった。

設備投資（百万円）



研究開発費（百万円）

